
姉をよろしく

飛六区

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

姉をよろしく

【Nコード】

N7684C

【作者名】

飛六区

【あらすじ】

隆司の姉は30歳にして彼氏もいなかったそんな姉に隆司は自分の先輩を紹介した

社員の隆司は2年前に結婚した 妻と食事をしていた時だ
チャームがなった 隆司が出てみるとドアの前に居たのは姉だった
隆司はびっくりしてこう言った

「どうしたの何かあった」 姉は隆司に彼氏を探してほしいと頼んだのだ 隆司が迷ったが妻に相談すると妻は

「あなたの先輩に川口君でいたじゃない、相談してみたら、もしかしたらお姉さんを気にいるかもよ」 隆司は迷ったが

「そうだな一回合わせてみるか」

翌朝、隆司は会社に着いたそして部署に入ると川口先輩にこう言った

「先輩すいません相談なんですけどいきなりですいませんが僕の姉と一度あつてくれませんか？」 突然の隆司の言葉に一度戸惑ったが彼女の欲しかった先輩は

「よし、会おう」と言ってくれた その日は会社が残業だったため今週の土曜日に会うことになったそして土曜日 隆司は先輩と一緒に姉の家へと向かった姉はアパートに一人暮らしをしていた 隆司はチャームを鳴らしたするとドアの前に居たのはオシャレをした姉が立っていた隆司はびっくりした、それというのも姉は女としては珍しくオシャレが嫌いだったため、隆司が姉のこんな姿を見るのは始めてだったのだ

隆司は言った

「姉貴どうしたの」 姉は

「だって隆司が男紹介するって言うからさ、少しでもオシャレしないとで、隣に要るのってもしかして紹介してくれる男」

「そうだよ 俺の先輩の川口先輩だ」 川口先輩は一目惚れをした姉も同じだったらしく急に恥ずしそうに

「よろしくね」と言ったその後隆司は、

「じゃ先輩後は二人きりで」その言葉を残し隆司は去っていった

翌朝隆司の携帯に姉から電話があつたそれによると川口先輩をよつぱど気にいったらしい隆司は喜んだ。そして姉と川口先輩は度々週末に会いデートを重ねていったそれから2年後会社に行くと先輩はこう言ってきた

「君の姉紹介してくれてありがとう、実はさ、昨日プロポーズしてさ今年の10月に、結婚しようと思うんだ」隆司はびっくりしたが「良かったですね先輩、俺必ず行きますよ」隆司は自分の事のように喜んだそして10月姉は結婚した。隆司はスピーチを読んだそして最後に

「先輩姉をよろしく願います」と、それから姉と川口先輩は幸せに暮らした

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n7684c/>

姉をよろしく

2011年10月4日10時13分発行